



中区では、外国人住民と日本人住民が共により良く暮らすために「中区多文化共生推進アクションプラン」を推進しています。多言語広報紙では、行政情報や暮らしのルール、社会の制度など生活に役立つ情報を英語と中国語でお伝えしています。

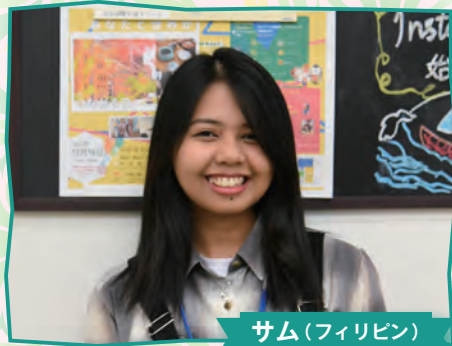
中区多言語広報紙
英語版 中国語版



このまちで 私らしく暮らす

国際色豊かな中区には、色々な国や地域からやって来た、色々な文化やルーツを持つ多くの人が暮らしています。文化や習慣など違うことはもちろんありますが、日々の生活の中で感じたり考えたりすることは同じことも多いようです。みなさんのお話の中に、ここでの生活のヒントがあるかもしれません。(インタビューはP2-3)

※P1の名前は日本での呼び名です



サム(フィリピン)

日本に来て驚いたこと

学校の体育のとき、みんなで同じ教室で着替えること。

最近嬉しかったこと

クリスマスに家族と過ごせたこと。母国では、パスタやジャムを塗った食パンを食べます。

好きな日本語

「愛」。漢字も意味も好きです。



オウちゃん(中国)

日本に来て驚いたこと

ペットボトルで売っているお茶が甘くないこと。母国では市販のお茶は甘いです。

最近楽しいこと

犬の「社長」と散歩すること。

好きな言葉

「笑う」。笑ってくれると、優しく感じて話しやすいです。



グルングさん(ネパール)

日本に来て驚いたこと

コンビニに食べ物やちょっとしたものの以外に、銀行のATMなどなんでもあること。

好きな日本語

あいさつ。「こんにちは」「こんばんは」「おはようございます」と色々あること。母国では「ナマステ」だけです。



エリック(ブラジル)

日本に来て驚いたこと

レストランで携帯電話を置いたまま席を離れても無くなるくらい安全なこと。

好きな日本語

「美しい」。子どもの名前をつける時に漢字を調べて、この字を入れました。



アンナ(アメリカ)

最近嬉しかったこと

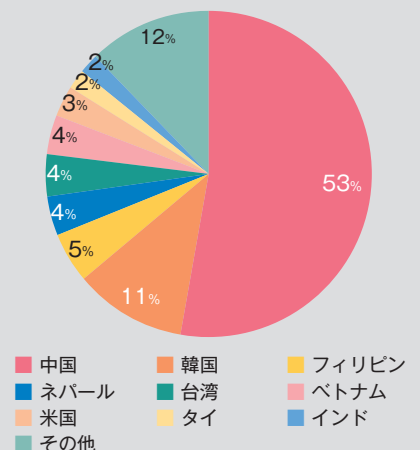
友達の家で勉強会をしたこと。一緒に餃子を食べました。あと、難しい漢字を復習した朝、道を歩いていたらその漢字を発見したこと。

好きな漢字

「雨」。初めて辞書を開いて覚えた漢字です。

中区に住んでいる10人に1人が外国人、色々な国や地域出身の人が住んでいます。

中区 外国人人口 17,301人
(2024年1月末現在)



横浜市統計情報ポータルより

将来の夢は英語の先生

プリフィカション サマンサ サンティアゴ さん
(フィリピン出身)

中学3年生で来日

自分の将来のことを考え、日本にいる母と暮らすために来日し、日本の中学校に入りました。日本語ができなかったので、国際教室(①)や「ひまわり(②)」にも通い、他の外国の生徒とも一緒に勉強しました。最初の国語のテストはひどい点数で、絶対に日本語を勉強しよう！と反省しました。負けず嫌いなんです。国際教室やYouTubeで学んだ言葉を使って話して覚えました。高校受験時は、日本語の大変さを感じながらも、在県外国人等特別募集(③)を利用して受験しました。

来日当初、学校のクラスメイトに英語で話しかけてみましたが、返事は日本語で言葉の壁を感じました。これが、日本で英語を教えたいという夢を持ったきっかけです。不安はありますが、夢に向かって経験を積んで勉強しています。

地域活動で充実した時間を楽しむ

高校生の時、なか国際交流ラウンジ(⑥)のフリースペースで勉強していたところ、スタッフに声を掛けられ、地域のイベントの翻訳や通訳のボランティアをするようになりました。英語のレベルを上げたいというのがありますが、外国につながる人たちと関わり、みんなのために何かしたいとの思いもあります。

大学生になって、学習支援のボランティアにも参加しています。教えることで自分も一緒に学ぶことができます。ここでの時間は楽しく、悩みを相談したりすることもできます。



中学生くらいで日本に来た人へ

とにかくあきらめないで勉強してと伝えたいです。今は大変かもしれませんが、大人になってやりたいことができるように、今をがんばって欲しいです。

父の味を日本全国に広めたい

オウ シンイ
王 馨逸 さん
(中国出身)

とにかく楽しく過ごす

7歳から日本に住んでいます。最初は学校に通わず、毎日父のお店の前で遊び、お客さんや隣のお店の人と色々な話をし、楽しく過ごしていました。4年生で小学校に入り、日本語はあまりできませんでしたがクラスメイトと鬼ごっこなどして一緒に遊びました。とにかく楽しければ良いと思います。学校では国際教室(①)にも入り、そこでは中国の友達もたくさんいました。



勉強はできなかったのですが、6年生の時、珍しく三者面談に来た父がそのことを知り、すごく怒りました。それから、父は仕事が忙しいにもかかわらず毎朝4時に一緒に起きて勉強をしてくれたの

で、学力はグッと上がりました。私のことをあきらめずにいてくれた父に感謝しています。

本場四川料理のお店「小青椒」

高校卒業後は中国に行く予定もありましたが、父からお店をやらないかと相談され、その道を選びました。父が作る四川料理は本場の味のほか、日本の味と中国の味を合わせて新しい味をつくる工夫もしています。多くの人に父の味を知って欲しいです。

ここでの生活で良いと思うこと

中区には外国の人が多く、自然体でいられます。学校に行っても一人の学生です。国籍や出身が違うから違う、ということはないです。

ここでの生活で一番良いと思うことは、自分で考えて行動できることです。人に迷惑をかけなければ、何でもやってみれば良いと思います。悩みやストレスはあるかもしれませんが、実はそんなに大したことではないのかもしれない。物事を簡単に考えて、やりたいことにチャレンジすれば良いと思います。

自分のお店をオープン

グルング ラム ラジャ さん
(ネパール出身)

お店「ナマステポカラ」を開くまで

ネパールでは大学を卒業しても仕事を見つけることが難しいので、17年前に来日しました。その頃から、自分の小さなお店を持ちたいと思っていました。

ネパール料理は、スープのようなカレーと、豆や野菜、ご飯などの料理で、ナンはあまり食べません。日本ではネパール料理があまり知られていなかったため、東京のお店でインド料理の勉強をしました。自分でお店を持つには、色々な知識が必要です。

その後、日ノ出町駅の近くに丁度良い店舗を見つけ、お店を開くことができました。味は日本人に合わせています。最近はネパールの学生が増えたので、ネパール料理も出すようにしました。



大変なことは日本語

日本語は来日前に3か月ほど勉強しましたが難しいです。東京のお店にいるとき、フロアでお客さんと話をしたり、アルバイトの学生たちと、日本語や英語で色々なことを話したのが楽しかったし、勉強になりました。

家族の来日

ネパールで日本は「ドリームカントリー」なので、家族も一緒に暮らしたいと後から来ました。小学生だった子どもは、最初はやはり大変で、学校に行くのを嫌がりました。妻が毎日一緒に通い、1か月くらい経った頃に大丈夫になりました。今では、日本語の通訳をしてくれることもあります。

外国から来た人を知って欲しいこと

母国では大丈夫だったことが日本では違うことがあります。例えば、ごみの出し方(④)や、電車や部屋の中、夜はうるさくないなど、違うことを知って欲しいです。

日本に住むだけでなく、 社会の役に立ちたい

マガリオ エリック さん
(ブラジル出身)

来日した理由

仕事で8年前に来日しました。私は日系3世なので幼少期から日本とブラジルの文化に親しみがありました。特に日本の相手を敬う文化、日本料理、温泉が好きです。妻と日本で生まれた2人の子供と共に生活しています。子供はインターナショナルスクールに通学中です。日本は安全でサービスが充実しているので住み続けたいと思っています。住むだけでなく、日本社会に貢献していきたいです。

消防団に入団

神社に貼ってある消防団員募集(⑤)のポスターを見たのがきっかけで、2022年に消防団に入団しました。母国でもボーイ

スカウトに入って地域のイベントを手伝う等、人助けが好きでした。放水訓練や山下公園のイベントなど、消防団の活動は楽しいです。一緒に活動している消防団員は経験が豊富で、就いている職業もさまざまです。中区の生活や歴史、建物など色々な話を聞いて知識を得られるのも、消防団に入って良かったことの一つです。制服も格好良いですし、なにより中区民の生活を支えることができてうれしいです。

母国の文化も大切に

母国と日本とでは文化が異なり戸惑うこともあります。日本の文化を理解することは大切です。そして、自分の国や地域の文化も忘れてはいけないと思います。母国の文化を日本で発信し、一緒に多様な文化をすることで、日本はさらに良い社会になると信じています。



日本での経験を母国で生かしたい

シューネル アンナ さん
(アメリカ出身)

IUCでの10か月留学

昨年8月にアメリカ・カナダ大学連合日本研修センター(IUC)に通うために来日しました。幼い頃から日本のポップカルチャーに興味があり、日本語で漫画を読みたい!という思いから独学で日本語を勉強し始めました。IUCでは日本語や日本の大衆文化、ビジネスマナーについて学んでいます。都会はあまり得意ではないですが、伊勢佐木町には銭湯などもあり、横浜が好きになりました。

印象的なボランティア活動

来日時、区役所に行くところを、誤ってなか国際交流ラウンジ(⑥)に行っていました。この時のスタッフとの出会いが「中区多文化フェスタ」でのボランティアにつながりました。私は絵を描くのが大好きです。絵は言葉が分からなくても伝えることができます。「中区多文化フェスタ」では似顔絵ブースを出しました。色々

な国の人と距離が縮まり、楽しかったです。障害のある人が私の絵を嬉しそうに見ていたのが印象的でした。アメリカではこの光景はあまり見られません。日本では身体が不自由な人も1人で行動しているのをよく目にします。日本の公共施設のバリアフリーは素晴らしいです。私は障害者支援団体での翻訳活動もしています。アメリカに帰国後も日本で学んだ知識を生かしていきたいです。



アメリカに帰国したら

帰国後は漫画などの日本のポップカルチャーの作品を翻訳する仕事に就きたいです。世界では国が違うことで争いが絶えません。しかし私は、国が違ってもつながりを見つけることで争いは防げると信じています。日本の生活を経験した私が、正しく英語に翻訳をし、日本の文化を説明することで、日本とアメリカの架け橋になりたいと思っています。



絵:アンナ

インタビューで
話していた!

用語を説明します!

① 国際教室

外国につながりがあり、日本語指導が必要な児童生徒が一定数以上いる学校にあります。日本語指導や、教科指導、生活適応指導等も行っています。

② 日本語支援拠点施設「ひまわり」

来日間もない子どもたちに、集中的な日本語指導や学校に適應するための指導、子どもと保護者向けの母語によるガイダンスを行っています。就学前教室もあります。通いたい人は学校に相談してください。

③ 在県外国人等特別募集

神奈川県公立高等学校の入学選抜のひとつです。認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ(通称:ME-net)で、公立高校の入試情報を多言語で提供しています。



④ ごみの出し方

ごみはルールを守って分別し、決められた収集曜日の当日朝8時までに集積場に出します。



⑤ 消防団

普段は自分の仕事や学業がある人が、地域の防災の担い手として活動しています。災害時には近くの人を助けたり消防活動を行い、地域を守ります。



国際サービス員 区役所 2階
(中国語)8:45~15:45 (英語)10:00~17:00

区役所業務の案内、窓口での通訳、諸証明を取るときの申請書の記載サポートなどを行います。日本語での手続きが不安な人は、声をかけてください。

なか区民活動センター・なか国際交流ラウンジ開館日変更のお知らせ

4月1日から開館日が変わりました!

なか区民活動センター	なか国際交流ラウンジ
月~金曜 9:00~21:00	月~土曜、第2・4日曜 9:15~17:00
土曜、第2・4日曜 9:00~17:00	
休館日: 第1・3・5日曜、休日、12/29~1/3	

⑥ なか国際交流ラウンジ

外国人市民の相談や情報提供を多言語で行っています。日本語教室も開催しています。英語・中国語ができるスタッフが毎日います。気軽にお越しください。
TEL: 045-210-0667 Email: nakalounge@yoke.or.jp





みんなのおすすめスポット紹介

ちょっと出かけて
みませんか

春の過ごしやすい日に中区周辺を散歩してみませんか。今回はインタビューさせていただいたみなさんからお気に入りのスポットを教えてくださいました。1人でも、ご家族でも、気軽に出掛けてみてくださいね。

お買い物や子どもと
遊びに桜木町や
みなとみらいへ★



写真提供：中区って「イネ!!」フォトコンテスト



ロケットがある近所の公園
(千歳公園)がお気に入り😊



海も花も船も、
日の出まで見られる
山下公園🌸

写真提供：中区って「イネ!!」フォトコンテスト



のげやまどうぶつえん

子どもも大人も
無料で楽しめる
野毛山動物園!

ペットの犬と
根岸森林公園へ
お散歩🐾

自然が多くて
大好きな三溪園🌳



イセザキ・モールの
ファーストフード店から
歩いている人や
犬を見るのが好き♥



写真提供：中区って「イネ!!」フォトコンテスト



写真提供：中区って「イネ!!」フォトコンテスト

中区に暮らす外国人が発見
日本の暮らしと文化

まごころ通う日本コミュニティ



日本に来て何年も経っているのに、日本人と深く付き合うことはめったにありませんでしたが、子どもが日本に来てから、日本の学校の先生やお母さんたちと少し交流がありました。その中で一番よくみなさんに話しているのは子どもの剣道会のことです。これは地域の日本人のお母さんと剣道の先生が作った会です。

剣道会に入る前は、ドラマから受けたステレオタイプなイメージで、剣道の先生や日本人のお母さんが外国人を受け入れてくれるのか心配でした。ドキドキしながら主催者に連絡しました。すぐに入会を許可する返事が来ました。

この剣道のクラスに入ってから、週に何度も訓練を受けていますが、どの先生も国籍とは関係なく、子どもたちに心から接しています。どのお母さんも誠実

に私に向き合っています。例えば、新しく入会したお母さんに剣道の注意事項やルールを説明し、子どもたちに剣道の服装を用意します。それ以外にも、私の仕事が忙しくて、子どもの練習を見ることができない日も、これらの先生と日本人のお母さんたちから大変お世話になっています。さらに剣道の先生は忙しい両親のため、車で送迎まで手伝ってくれました。

先生は、「かつて自分たちの若い頃も、仕事と育児の忙しい中で過ぎていましたが、今では退職して、コミュニティ内の若い両親を助けることができ、とても嬉しい」と喜んでいました。

この言葉で、日本に来て、今までにない温かさや幸せを感じました。

(なか国際交流ラウンジ中国語スタッフ)

知ってほしい!
日本の文化

おにぎり

季節の行事や、衣・食・住に関する日本の文化などを紹介します

始まりは西暦1世紀とも言われている日本食の定番、おにぎり。おにぎりは主に三角型、丸型、円盤型、俵型の4種類に分けられます。最近では握らない「おにぎらず」も広まり、サンドイッチのように食べられたり、中に入れる具も含めて無限にアレンジが出来ます。

<ツナマヨネーズ入り丸型おにぎりの作り方>

- ①ツナ缶を開け、油を流し捨て、2枚重ねたキッチンペーパーの上ツナを乗せてしっかりと油を切ります。
- ②①のツナと同じ量のマヨネーズを混ぜればツナマヨネーズの完成です。(お好みでコショウを入れても◎)
- ③お茶碗に半分程ご飯を敷き、真ん中に指で押して窪みを作り、②のツナマヨネーズを適量入れて、具が隠れるくらいのご飯を軽く重ねます。
- ④もう一つお茶碗を使って逆さに蓋をするように合わせて上下に軽く何度か振るとまん丸のおにぎりが出来ます。(④の代わりに③の最初にお茶碗へ大きめにラップを敷き、③の最後にはみ出したラップを上から被せて丸め、両手で握る方法もあります。炊き立てのご飯は熱いので注意が必要です。)
- ⑤最後にご飯の周りに軽く塩を振って、海苔で挟めば完成。

写真提供：中区って「イネ!!」フォトコンテスト



<多言語広報紙配布先を募集しています> 外国人の集まるお店や病院、機関など、ご希望があればお届けします。

●次号は7月1日発行です